

富士川

5月号 昭和45年5月25日

No. 119

富士川町役場発行

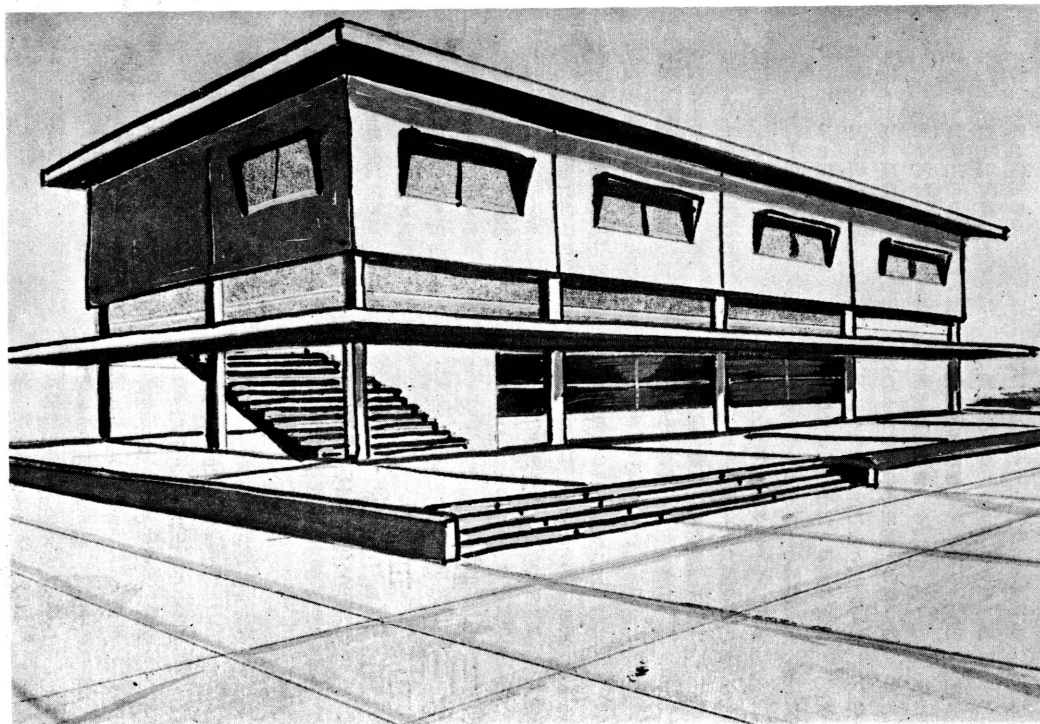
富士川町岩淵121番地

電 話 011111

町の人口

45.5.1現在	15,234人
男	7,536人
女	7,698人
世帯数	3,438世帯
(面積)	31.09km ²

印刷/望月印刷所 T 010304



富士川駅舎完成図

町制施行70周年記念

富士川駅誕生・上水道10周年

郵便・電々両局名「富士川」改称

式典

6月1日

緑したたり、蜜柑の花の香が人生の喜びを贈る初夏の好日、わたくしたち富士川町民にとって永久の想出となる記念式典が挙行されます。

六月一日、富士川町・町制施行70周年、富士川駅誕生、上水道10周年、郵便・電報電話局の「富士川」改称の記念式。

空高く、打ち揚げ花火の爆音が響き渡ります。

富士川駅舎落成式を現地で行行後、一小体育館に関係者五百名が参加し、厳粛な内に意義深い記念式典を開催する予定です。

町民各種団体もこの日を祝おうとする動きが見られますが、とくに、文化協会所属の団体・創災は、傘下の劇団創災と楽団災の総力をあけて、前夜祭を町民皆さんに贈ろうとしています。

五月三十一日(日)午後六時から、町立第一公民館で挙行する創災自主公演「逃散」がそれ。

六月一日には、各戸でわたくしたちの心の象徴、日の丸を掲げ、祝意を表わすうではありませんか。

(関連記事2・4P)

故 若月清 町議会議長

初の町議会議葬



遺族は、妻・りうさん、長男栄一さん夫妻、お孫さん二人。次に故人の略歴を記し、哀悼の意を表します。

故人略歴

昭和9年10月〜18年4月 静岡農務課職員

18年5月〜23年4月 蒲原町役場職員

23年5月〜34年3月 富士川町役場職員

同総務課長・社教課長

34年4月〜38年3月 富士川町議会議員二期

38年4月〜42年3月 富士川町議会議員二期

42年4月〜現在 富士川町議会議員三期

44年6月〜現在 富士川町議会議長

45年4月〜現在 庵原郡町議会議長

昭和38年4月〜39年3月 富士川町社会教育委員

39年4月〜45年3月 同右 委員長

43年4月〜45年3月

那社会教育委員連絡協議会長
県中部社教委員連絡協議会長
県社教委員連絡協議会副会長
昭和44年6月〜現在

富士川外二町衛生処理組合議長
県道富士宮由比線道路組合監事
昭和32年4月〜34年3月
富士川町体育協会創設
同会理事

駅舎改築・駅名改称

六月一日より

富士川駅となる

岩淵駅舎の改築が始ったのは昨年十一月二十五日、ことしの五月三十一日には完成、翌六月一日午前九時半からその落成式が現地で行なわれます。

この間、町は、駅名変更について、広報富士川昨年九月特集号で明らかにした理由をもって、関係各機関へ十数回におよぶ陳情を重ね、ことし四月七日、静岡鉄道管理局長からの通告により、正式に六月一日から富士川駅と改称されることになりました。

新駅舎の概要

駅本屋は鉄筋コンクリート三階建、六四三㎡(約一九五坪)、通路橋六六メートル(幅三㎡)電気通信・信号・衛生等の附帯工事を

38年4月〜現在

富士川町体育協会長
静岡県体育協合理事

昭和40年7月 町議会議長表彰

42年3月 自治功労者表彰

43年12月 県体協会長表彰

44年10月 郡議長会長表彰

45年4月 町教委感謝状

富士川駅の誕生を祝う

含み工事費七千二百万円(内・国鉄利用債引受四千万円 地元負

記念団体旅行募集

国鉄は、駅舎改築、駅名改称により、従来の岩淵駅が新しく富士川駅として発足することを記念し次のような記念団体旅行を呼びかけています。

期日 6月26(金)〜28日(日)

(中尊寺・松島・飯坂温泉)

特別列車グリーン車利用)

コース 6月26日午後8時富士川

発〜東京〜上野(車中泊)

担金三千百万円)

このほかに、町単独事業費として一千四百万円(東口広場・通路橋設計監督料など三百五十万円、利用債・一時借入金利子九百六十九万円、落成式事務費八十一万円)合計総事業費八千六百万円(財源内訳は、町一般財源三千万円(五カ年処理)一般寄付金二千五百万円。寄付金一千五百万円の内訳は、法人一千万円、個人五百万円。)

◇――◇

六月一日、躍進する富士川町の表玄関としてふさわしい、近代的駅舎の全貌が明らかにされます。施工者は、株式会社 若月組

1平泉(27日午前6時51分) (1平泉バス) 中尊寺1松島(船) 塩釜1飯坂温泉(午後6時半・宿泊) 28日午前9時・飯坂バス) 1土川(午後5時40分) 経費 一人 約一万六千五百円 募集人員 三五〇人

五月二十日

町議会臨時会

傍聴席

新議長に望月亀歳氏

副議長芦川守正氏

若月議長死去にともなう議長選挙が行なわれ、投票の結果、望月亀歳議員が議長に当選しました。

町監査委員に

石川氏再任さる

監査委員・石川均氏は五月五日で任期満了（任期3年）となりましたが、中川町長は同氏の再任を望み、町議会の同意を求め、議会もこれを了承、同氏の再任が決定しました。

これにより、石川監査委員は、昭和四十八年五月五日まで執務することになります。

また、鈴木副議長が、新議長就任を期に副議長辞職を申出、町議会がこれを了承した結果、続いて副議長選挙が行なわれ、芦川守正議員が当選しました。

望月議長は、自動的に庵原郡町議会議長に就任することになります。

なお、新議長誕生により空席となった総務常任委員長に太田義雄議員（前総務副委員長）同副委員長に望月好雄（総務委員）が、また新副議長の前職建設副委員長には古川喜代松議員（建設委員）がそれぞれ互選されました。

名誉町民

五氏に決まる

町は、六月一日挙行の町制施行七〇周年記念式典で、初の名誉町民を顕彰するため、鋭意、人選を急いでいましたが、五月二日の審査会（町当局・議会・団体長・学識経験者の代表15名）に原案を諮問、全員一致した賛成を得て後、



この臨時会に提案、次の方に富士川町名誉町民の称号を贈ることを決定しました。

（敬称略）

佐藤虎次郎（68歳・清水市長）

沼津市議、同副議長を経て、戦後政界にはいり、衆議院議員当選5回、郵政政務次官、衆院建設常任委員長を歴任、国政に参与。さらに現在、清水市長2期在職中。

国ならびに地方政治に尽くした功績は顕著であり、郷土の開発にも

大きな功績をあげた。

野田力三（65歳・野田合板株式会社社長）

昭和22年、野田合板（株）社長となり、以来、同社が、その業績により、日本合板界に誇り得る地位を占めた功績は、郷土出身実業家として第一人者である同氏に負うところ大。さらに産業功労者として藍綬褒章を受章。町自治行政の進展にも大きな功績をしるす。

野間省一（59歳・講談社社長）
戦後六三制の教育改革により、町立第一中学校の新設にともない校地約二万三千㎡を無償寄付されたのをはじめ、教育振興に多額な金品を寄贈、講談社と町は、昭和13年、田中伯別郎が野間家の所有となつて以来30余年におよび、戦時中の食糧危機に際しての町に対する協力等、町と野間家との関係は深いものがある。世界の出版界の第一にある講談社の隆盛は、町にとつても誇り得る。

斎藤頼夫（66歳・全国喫茶業組合連合会理事長）
昭和22年、町議一期在職し、東

京に移転。飲食業関係の会社を経営、現在、全国喫茶業環境衛生同業組合連合会長、全国喫茶業組合連合会理事長をはじめ、東京都の環境衛生業界の各種要職を歴任、政財界に活躍、昨年、藍綬褒章を受章。郷土愛に燃え、町公共施設に多額な寄付をし、町自治発展にも大きな功績をしるす。郷土出身実業家として、全国に知られる成功者の一人。

井上俊夫（70歳・富士川製紙社長）に就任以来、製紙業界の指導的役職にあり、先年、黄綬褒章を受章。昭和32年から毎年小中学校の図書費の寄贈をはじめ町の公共施設に多額の寄付をされ、町自治発展に大きな功績をしるす。

会社創立以来、町民との関係深く、同氏の実業家としての人格識見ともに町民の敬意を受けるにふさわしい。

秀村氏

五十万円寄付

秀村敏朗氏（医師、文化協会会長）は、町立第二中学校の教育振興のために五十万円を寄付。（生徒用机・いす二学級分一六〇組および教材購入資金として）議会はこれを採納することを決めました

町制70周年・上水道10周年
富士川駅落成・局名改称

記念式典 六月一日

一小体育館で

六月一日は、町制施行70周年、富士川駅落成、上水道10周年、郵便・電報電話局名「富士川」改称の記念式典が挙行される日です。まず九時半、富士川駅落成式が現地で行なわれ、十時半から引続き一小体育館で記念式典。席上、名誉町民の顕彰、自治功労者の表彰、感謝状の贈呈があります。

また、夕刻七時からは、同一小体育館で16ミリ映画「ふじかわ・20分」の上映と自衛隊音楽隊の演奏会が開かれますので、おでかけください。

町制 70 周年

明治34年 町制施行・富士川町誕生。常業一郎 初代町長に就任
明治37年 富士川大洪水、堤防百五十間欠損
大正9年 第一回国勢調査(富士川町五、七三七七人・松野村三、四二七人)
大正13年 国道富士川橋開通
昭和4年 岩測の大火
11年 富士川町婦人会結成

上 水 道

昭和32年 厚生省の許可事業として認可を受く
昭和33年 東町に掘井着工
35年 一部給水開始
37年 完成、全地区へ給水
44年 上水道二期工事完成

郵 便 局

明治12年 岩測郵便局設立
昭和16年 特定郵便局となる
27年 電報電話局と分離
45年 富士川郵便局と改称

電 報 電 話 局

昭和27年 郵便局から分離、岩測電報電話局として独立
昭和40年 新築開局、自動化
45年 富士川電報電話局

水 道 の 水

六月一日から七日までは第十二回の全国水道週間です。富士川町に上水道ができて、こゝとして満十年を迎え、くしくもこの水道週間の第一日目に、各界の方々をお招きして記念式を挙行することは、たいへん意義深いものがあります。



写真 最後の打合わせをする劇団・創炎

町制70周年記念式前夜祭

創 炎

自 主 公 演

創炎(主宰者・氏車十)は、町制70周年、富士川駅誕生、上水道10周年、郵便・電報電話局名「富士川」改称記念式を祝い、傘下の劇団・創炎、楽団・炎の総力をあけて、五月三十一日午後六時から、第一公民館で前夜祭を挙ります。

楽団・炎によるバンド演奏
(富士川小唄ほか 30分)

劇団・創炎による演劇
「逃散」 3幕12景

源平富士川の合戦

氏車主宰者の話「初夏の一夜、源平の昔に生きたわたくしたち郷土先人の姿をごらんください。ただ今最後の仕上げをしています」

第二小学校

用 務 員 募 集

夫婦で宿直のできる方
主人は、他の職場で働いても可。

詳細は、二小または
教育委員会へ

文化協会総会

盛大に挙行

文化協会(秀村敏朗会長・会員四百余名)の今年度の総会は、五月二十三日午後六時半、老人福祉センターで開催。

文化教室

教育委員会は、婦人学級・家庭教育学級と並行して、婦人文化教室を開教します。

六月十二日開講し、来年まで、12・1・3月は1回のほか毎月2回開講。

午前中に学習しようとする若いお母さんのための教室です。

担当する池谷社会教育主事は次のように話しています。

「デッサンは苦手だという人に無理にやらせるようなことはしません。短歌はいやという人に無理に作れとはいいません。しかし、みんなで楽しい気分、それらしいことをやってみたら、意外にうまくいくものだということが分ると思います。初歩的なことをやりませう」

新しい試みです。詳細問い合わせは、教育委員会へご連絡ください。

総会は、中川町長、望月議長ら来賓を迎え、会員多数の出席のもと、盛大に行なわれました。



まず、天野寛副会長病欠欠席につき稲垣常任理事が開会の宣言をした後、芦川守正理事長が立ち、44年度の事業報告および決算報告と45年度の事業計画案・予算案を説明。

出席全会員は、それぞれにつき審議した結果、四件を原案どおり可決しました。

続いて、秀村敏朗会長が、「われわれ会員一同心を合わせ今後もますます飛躍しよう」とあいさつ。

来賓を代表して中川町長と望月議長が祝辞と励ましのことは述べ、望月八代副会長のあいさつで閉会。

懇談会にはいり、文協独特のふ

池上行政相談委員

連続四回目の感謝状

当町の行政相談委員、池上憲氏は、五月二十日午前十時半から静岡市中央公民館で開催された昭和45年度行政相談委員県全体会議席上、中部管区行政監察局長から感謝状を受けました。(全県下で二名)

同氏は、42年から連続四回感謝状を受けており、中部管区内でも異例の功績をあげていることが分ります。

今回は、行政の民主化と能率化に尽くした努力が認められたものに

◆◆◆
国の役所や国鉄・電々・専売公社・公団・公庫などの仕事(恩給年金・登記・国税・生活保護・農地・道路・交通・郵便・電話・公害・公営住宅等)や、県・町で国から委任されたり補助金を受けたりして行なっている仕事について苦情や相談ごと、不満や意見をも

ん困気のなかで、創設に所属する楽団・炎がバンド演奏すると、富士川小唄にアンコールがかかるなど、楽しいひとときを過しました

商業統計調査

商店経営者の皆さんへ

商業統計調査が六月一日現在で全国一斉に行なわれます。

この調査は、二年に一回行なわれる商店の国勢調査ともいわれるもので、町内のすべての商店について調査します。

本年は、十月一日に国勢調査があるため、例回七月実施を一カ月早く六月一日にしています。

調査することは、売場面積、従業者数、年間商品販売額、商品手持額、営業経費などです。

調査結果は、国や県、市町村の中小企業対策や商業の近代化を図ることに役立てられます。また一般の商店でも、将来の経営方針をたてるうえに広く活用されます。

各商店の協力が、この調査の生命ともなりますので、調査員が六月上旬に伺いましたときは、よろしくお願いします。

なお、この調査は税金とは全然関係なく、個々の調査票の内容も法律によって秘密が守られていますので、現状をそのままをご記入ください。

当町の調査員 (敬称略)
望月志郎・小沢勝巳・天野明・丸山博康・村野幸三・池田一郎・若月喜代子・深沢尊明・大木靖也

人権についての相談は左記の方へ (敬称略)
人権擁護委員 花田平作 舟山
若月 栄 川坂
天野 茂 根方

体協総会

ユニークな事業計画

体育協会45年度の総会は、五月七日午後七時、老人福祉センターで開催されました。

(若月清体育協会会長は、くしくも、この総会の夜十一時半に永眠しました)

44年度の事業・決算報告、45年度の事業計画および予算を審議し原案どおり可決しました。

本年度、体協の目指す目標にユニークな息吹が感じられますので紹介しましょう。

「当協会は、45年度の幕明けにあたり、次の点を事業目標として町民体育、スポーツの振興に寄与したい」

①区對抗の各種大会は、スポーツ愛好者の技術の向上の場として、また、町民スポーツの振興の場としたい。

②スポーツ人口の底辺の拡大をはかろう。

③各部が部員を正式に登録し、独自の活動を展開するよう期待する

④町内に点在するスポーツサークルの活動に目をむけ、支援しよう

⑤小中学生の健全なアイドルとな

るような優秀な競技者を育てよう
⑥大いに県・郡大会に代表選手を送ろう。

⑦過去13年の体協史にみる実績に翻れることなく、常に自己を磨き体育・スポーツのリードマンとなろう。

45年度役員 (敬称略)

(〇印・兼任)

会長 若月 清 (五月七日死去)

副会長 尾崎初男

理事長 青柳一郎

常任理事 丸山博康・若月伸元

齋藤三郎 望月 貢

齋藤房治

総合理事 望月康江 清 堅司

久保田幸男 大木三山

池田一郎 押田秀雄

松永 猛 山田能史

遠藤 誠 大久保芳夫

理事

陸上部 齋藤五夫・天野金義・藤

島肇・大村武・清勝元

野球部 吉田鈺太郎・村山弘・望

月寛治・進藤章・河原函

一・前沢重雄・望月朝雄
野沢誉富

卓球部 錦織孝臣・岡本紘一・清

泰二・渋谷弘・佐々木三

男 雄・望月正巳

水泳部 齋藤隆・荻野治・渡辺文

柔剣道部 鈴木詔式・浦田宏・望

月伸浩・天野武雄

監事 〇齋藤房治〇若月伸元

事務局長 〇丸山博康

区体育部長 北松野一前沢重雄

南松野一未定 木島一角替恵一

舟山町一渡辺和巳 上町一勝又朗

夫 相生町一根上元太郎 坂下一

前林昭和 旭町一荻野治 川坂堺

町一益木進一 新町新四一芦沢昌

巳 宮町一望月一男 小池一渡辺

安松 本通一依田輝雄 本三四

一五十嵐順信 幸町一宇佐美貴司

東町一日出町一進藤章

各区對抗ソフト

6月7日

体育協会野球部(齋藤三郎部長)主催の第20回各区對抗ソフトボール大会が次のように行なわれま

す。

■期日 6月7日(日) 8時開始 (雨天中止)

■会場 一中校庭・野田グラウンド

■チーム編成

30代5名・40代4名

■出場資格

区對抗のため該当区に居住している人

申込 期限 6月2日16時半

場所 体協事務局

(役場・丸山博康)

抽選 6月2日19時 図書館

試合方法

区對抗・トーナメント式

7回 5回以後、10点差の場合はコールドゲーム

婦人会生活部事業

ヒナ供養の美しい炎

四月二十七日正午、富士川の川原で、婦人会生活部の手による「ヒナ供養」が行なわれました。

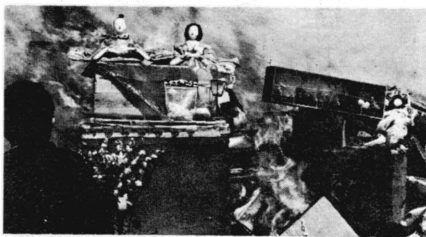
集められたおヒナさまを二カ所に積みあげて代麦のだいら様と天神様を箱の上に飾り、桜の花とあられ菓子、神酒をお供えしました

役員一同は、おヒナ様の回りに輪をつくり、ヒナ祭りの歌「あか

りをつけましょ、ばんぼりに」を「きょうは悲しいヒナ送り」と替歌し、点火しました。

その炎は、ちょうどおヒナ様の衣裳のように、オレンジ色の異様に美しいもので、わたしたちの厄を背負って消えていくおヒナ様の姿に思わず両手を合わせました。

(儘下町道下 小川キクエ)



写真上 美しい火炎に包まれ昇天するおヒナさま
下 「ヒナ送り」の歌を合唱する婦人会役員

町制70周年記念

婦人会 バレーボール大会

五月三十一日 一中校庭

婦人会(望月八代会長)は、六月一日に挙行される町制70周年記念式を祝い、その前日の五月三十一日(日)、一中校庭で婦人バレーボール大会を開催します。

午前九時開始、午後一時終了予定。参加チームは、木島・室野・舟山・坂下・相生町・旭町・八幡町・南町・富士見町・儘下町・小池・東町・幸町・新四・川坂堺町宮町の16チームが参加します。

準備されたコート四面で熱戦が展開されますが、はたしてどのチームが優勝杯を獲得するのでしょうか。

教育委員会・社会体育指導委員

会は、一位から四位までのカップを用意しています。

二幼プール

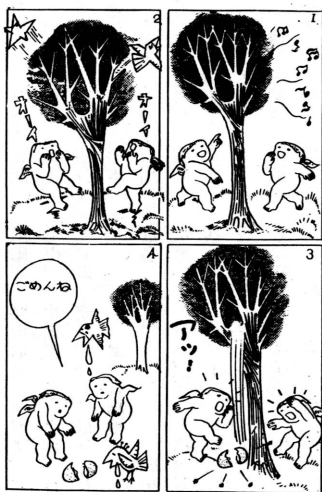
P.T.A事業

第二幼稚園P.T.A(錦織孝臣会長)は教育委員会からの原材料支給に自己資金を加え、全会員の勤労奉仕によって、園児用プールを園庭南、中学プール横に新設しました。

四月二十四日に着工、五月十九日完成。プールサイドを含め、長さ13m、横8m、深さは両端で50

星の子

太田利三



センチと40センチ。

これで、二幼稚園も、一幼稚園と同様、真夏のぎらつく太陽の下でも水遊びができるようになりました。(石川通信員)

当町林業グループ

石川会長

県林青研会長に

当町林業グループの石川文彦会長(儘下町・農業・34歳)は、四月一日、選ばれて静岡林業青年研究協議会会長に就任しました。

青年団研修会

五月二十四日センター

連合青年団(池田一郎団長)は五月二十四日午前十時から午後五時まで、老人福祉センターで青年団研修会を開きました。

午前は、朝比奈博氏(県公連事務局長)の講演「七〇年代の青春の生き方」を聴講。午後には①青年団のあり方②三町合併に思う③青春時代の余暇の三つの主題につき、それぞれ分科会を開催しました。

池田団長の話「今年度の目標である、自己開発と仲間づくりに赤い線を与えられた講演、また活発な意見の交換を通して、われわれ青

年の生活を高めるに意義ある研修会となり、嬉しく思っています」

山村さん

美林コンクールで

奨励賞受賞

大北町の山村東介さんは、四月十日行なわれた静岡地区美林コンクールで、見事、奨励賞を受賞しました。(石川通信員)

巡回

交通事故相談

県交通事故相談所は、交通事故の事後処理で困っている方の利便をはかるため、巡回交通事故相談所を次のとおり実施します。

交通事故の件で相談したい方は、ぜひお出かけください。とき 6月18日(木) 10~15時

ところ 芝川町役場
対象 芝川町民・富士川町民

郵便物の事故は

二連絡を

岩淵郵便局

皆さんの出した郵便物が届かなかったなど、郵便物の事故はすぐ局へ申し出てください。

配達先の郵便局をはじめ、係員

が直ちに調査し、その結果を回答します。郵便物には必ず番地・世帯主名・肩書をはっきり書いてくださるようご協力願います。

善意銀行寄託

現金口座

- 二〇、〇〇〇円 加藤正直 小池
- 七〇〇〇 田村音作 本一
- 二〇〇〇 鮎川伸代 東町
- 五〇、〇〇〇 生田台宗 幸町
- 三〇〇〇 金指恭三 本三

物品口座

- 雑布 五十枚 白寿会 宮町老ク
- 雑布 百枚 幸和会 幸町老ク

453・2074・19

人の流れ

(敬称略)

祝結婚

区名	新郎	新婦	旧姓
川坂	小永井 卓	満江 小松	
東町	高井隆夫	教子 高井	
旭町	斎藤守弘	照子 高野	
八幡町	望月弘美	湧 馬野	
東町	大勝 昇	明美 大橋	
相生町	藤美一興	トモ子 船木	
新町	市川錠司	トシ子 後藤	
清水町	松永 猛	享子 二又川	

幸町	天野高司	ひろ子佐藤	東町二	原田直哉	雅美	二男
南町	佐野五明	敦子 高木	旭町	小山内香織	良雄	長女
東町二	中安保夫	哲子 望月	大北町	安藤和代	成造	長女
坂下	渡辺勝宣	文子 杉本	転 出 (結婚)			
八幡町	大久保達夫	美砂子石川	区名	氏 名	転出先	
南町	小林功利	登喜代 廣岡	東町	日向照江	横須賀市	
小池	林 勇二	和子 渡部	八幡町	望月玉貴	埼玉県	
祝 誕 生			四十九	望月芳美	静岡市	
区名	氏 名	保護者	大北町	宇佐美友子	富士市	
室野	望月和美	時男 長女	区名	氏 名	年令	
東町二	鈴木律江	弘 二女	堺町	小永井悠次郎	八五	
舟山町	斎藤直樹	臣弘 二男	四十九	杉本 屋	四五	
富士見	井出直美	馨 長女	幸町	生田台宗	九五	
川坂	小笠原誉幸	宏幸 長男	宮町	富永喜三郎	七九	
儘下町	石川ひとみ	芳男 長女	儘下町	小川 勝	六六	
相生町	青山昭博	浩章 二男	東町二	加藤弘吉	八七	
相生町	佐野亜結美	光男 長女	大北町	田中金吾	五九	
八幡町	稲葉真弓	正吾 長女	富士見	望月甚作	六四	
宮町	斎藤 光	昇 長男	八幡町	稲葉はつ	八二	
本通一	川口 弘	正男 二男	清水町	塩川文作	七九	
舟山町	太田晴彦	雅晴 二男	舟山町	草ヶ谷常雄	五四	
大北町	手塚幹雄	久美 長男	上町	望月よし	六八	
大北町	佐野有香	貞光 長女	旭町	氏原りよ	八九	
新町	鈴木千影	源一 長女	相生町	梅原ふさ	六二	
八幡町	野沢英紀	晋 二男	宮町	渋谷いね	八九	
舟山町	斎藤綾子	孝博 長女	編 集 覚 書			
堺町	望月真紀	好暲 長女	議会議、臨時会等に追われ、先			
錠穴	望月武利	清一 長男	月号でお約束した20日発刊が25日			
坂下	太田 純	節雄 長男	になってしまった。			
東町	山本雅博	達士 長男	皆さんに深くお詫びします。			
四十九	松本光弘	勝巳 長男	三十日ごろまでにはお手許へと願			
相生町	高木哲也	良雄 二男	いつつ。81—1—1— 斎藤 博			
日の出町	鈴木真理子	重俊 二女				

富士川夜話

望 郷 氏 車 十

タラカン山は、標高こそは三百メートル程度だが、いきなりそり立った姿が異様であった。望遠鏡で観測にあたっていたもう一人の同僚が、

「豚だ！」

とうめいた。全く、うめいたという表わし方がもつとも適切だった。わしらは、輻重特務兵。獲物を見ても、短剣一ふりではどうしようもないからだ。しかし、それ、必要は行動の母。わしはその兵に観測を任せ、歩兵野郎の屯所へ下って事情を話し、銃を持った五人の兵を案内して引き返した。

中腹の岩かげに餌をあさっていた黒豚を見かけると同時に弾丸が発射され、三頭を倒した。

この鳥は、他の戦線と違って自然の食糧に恵まれていたが、肉を食うのは久しぶりだった。

◆

セレブスの東、ハルマヘラ島、一周するに三日の旅程ということ。大きな想像していただく。わしは、ガレラ港へ昭和十九年五月に上陸、以後二年間をここで過した。守備は混成師団二万。

三十前の青春を過ぎた場所として、その記憶は今も鮮烈にわしの心のなかで脈打っている。タピオカは茂り、その根は旨い澱粉の固まりで、常食としてわれわれの胃の腑を満たしてくれた。

フノエ川を舟艇で下り、海岸陣地へ行けば、マングロープの繁茂する湿地帯では、人のこぶしほどの貝類をまるで砂利のように探ることができた。浜で製塩もした。バナナもわしらの目から逃がれることはできず採取された。房を地中に埋めて黄色くしてから食ったほか、椰子の実を割ってココラを

われ

南へ行く

取り出し、フライパンで油をつくり、フライに揚げてその珍味を楽しんだ。

軍司令部の奴らは、威張るばかりで、わしたちのような生活能力はなく、巡察にくる将校も、煙草を持ってきてわしらの気嫌をとりバナナの房を大切に抱えて帰っていった。……ただ、奴らは、軍食糧を一手に握っているという強味があった。わしは、衛兵のすきをついては米袋を盗んだ見つければ文句なく射殺される危険にもおぼしめたのは、特権階級

をもって任ずる奴らのハナをあかしてやりたいという衝動が強く働いたからだ。

うなぎの蒲焼きも旨かったな。わしは、八畳ほどの広さの湿地を見つけ、他の兵を語らって、かい掘としゃれた。大バケツに四杯もうなぎ、淡水魚を得たが、兵のなかには、その都度その都度、その場に適した野郎がいるもので、焼津の魚屋だった兵が鮮やかな手捌きで、うなぎをつかみ、岸へ次々と投げた。もつとも、うなぎと間違えて蛇をつかみ、噛まれるというハブニングもあったが……その夜のことが懐かしい。

住民たちが広場で輪になってロンゲ(踊り)し、きらめく南の星の下、かがり火に照らされて踊る男や女、とくに若い女がひとしお美しく、昼間のかい掘が、富士川での遊びを回想させ、その女の容姿が、郷里の女への激しい思慕をかきたてさせた。

椰子の樹にもたれていたわしは、目からは、異境で眺める月にせかれ涙がとめどなく流れた。

賑やかな内にも哀切な曲とリンゲ、周囲に三々伍々立つ兵の顔にも、激しい望郷の思いが色濃かった。

「わしは、どんなことがあっても富士川のほとりへ帰るんだ。どんなことがあっても……」